

教育上の目的に応じ学生が修得すべき知識及び能力に関する情報

※履修モデルは最低取得単位数

○ 履修モデル

◇ 幼児教育学科(保育士・幼稚園教諭二種免許状を取得する場合)

		1 年 次				
		必 修 科 目		選 択 科 目		
る教養に 教育に 科目 目す	保健と体育	2			幼児体育	1
	基礎音楽	2			基礎造形	1
	英語 I	2				
	情報機器演習	2				
専 門 に 関 す る 教 育 科 目	子どもと健康	1	教育原理	2	子どもの保健	2
	子どもと人間関係	1	教職論と教育制度	2	子どもの健康と安全	1
	子どもと環境	1	保育課程総論	2	保育実習指導 I	2
	子どもと言葉	1	特別支援教育	2		
	子どもと表現	1	保育の心理学	2		
	保育内容「健康」の指導法	1	乳児保育 I	2		
	保育内容「人間関係」の指導法	1	保育内容総論	1		
	保育内容「環境」の指導法	1	造形表現	1		
	保育内容「言葉」の指導法	1	社会福祉	2		
	保育内容「表現」の指導法	1	社会的養護 I	2		



保育実習 I 4

※1,2年通年科目

		2 年 次				
		必 修 科 目		選 択 科 目		
る教養に 教育に 科目 目す	日本国憲法	2				
専 門 に 関 す る 教 育 科 目	保育原理	2	子どもの理解と援助	1	卒業研究	2
	子ども家庭福祉	2	子どもの食と栄養	2	教育実習 II	4
	保育者論	2	乳児保育 II	1	保育実習 II	2
	身体表現	1	社会的養護 II	1	又は保育実習 III	
	教育心理学	2	子育て支援	1	保育実習指導 II	1
	幼児理解と教育方法	2			又は保育実習指導 III	
	幼児教育相談	2				
	教職・保育実践演習	2				
	子ども家庭支援論	2				
	子ども家庭支援の心理学	2				

○ 主な科目の概要と目的

<保健と体育>

- ・各種スポーツの技能等を習得することでスポーツに親しみ、健康づくりの意義を理解し余暇善用の技術、生涯スポーツのきっかけとなる体験をする。
- ・ライフスタイルに応じた運動や生活習慣と健康やスポーツ文化、更にはスポーツ外傷等に対する応急手当や処置法、救急法（AEDや心肺蘇生法）等に関する基礎的な知識や技術を習得する。

<基礎音楽>

- ・リズムの基本や楽譜の読み方をピアノだけでなくタッチベル・カホン等のアンサンブルを通して楽しく学ぶことができる。
- ・「わらうべうた」を通して乳幼児の声域を理解し、[ラ]からはじまる音感教育を通して正しい音程で

歌うことができる。

- ・音楽の基礎学習の理解を深める。
- ・子供の自然な声、保育者の自然な声、ことばと声域を理解するとともに、乳幼児の音表現を理解する。
- ・弾き歌いができるようになる。

<保育者論>

- ・保育者の役割や倫理、制度的な位置づけについて理解する。
- ・保育所や認定こども園の一日と保育者の役割や職務内容について理解する。
- ・具体的な場面を通して、保育者の専門性や専門職的成長について理解する。
- ・保護者や地域社会、関係機関等との連携・協働について理解する。
- ・保育者の資質向上とキャリア形成について理解する。

<保育内容「言葉」の指導法>

- ・領域「言葉」のねらい、内容、構造、指導上の留意点、評価の考え方を理解する。
- ・領域「言葉」に関わる内容と小学校の教科等とのつながりを理解する。
- ・乳幼児の心情、認識、思考、動きを視野に入れた保育構想の重要性を理解する。
- ・領域「言葉」に関わる情報機器と教材の活用法を理解し、保育構想に活用できる。
- ・指導案を作成し、模擬保育とその振り返りをし、保育改善の視点を身に付ける。
- ・領域「言葉」の特性に応じた現代的課題や保育実践の動向を理解する。

<基礎造形>

- ・造形活動に必要な材料や用具について理解する。感じたことや考えたことを自分なりに表現することを通して、豊かな感性や表現する力を養い、創造性を豊かにする。
- ・水、砂、土、紙、粘土など様々な素材にふれて楽しむ。
- ・様々な形や色に気付いたり、感じたりして楽しむ。

